

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療広域連合負担金交付事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	国民健康保険室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	2008(H20)年度		年度	~	年度まで							
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、大阪府後期高齢者医療広域連合規約											
関係補助金名称						サンセット	~					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	大阪府後期高齢者医療広域連合										
	サブターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)										
	ターゲットが抱える課題	将来にわたり増加し続ける被保険者に対し円滑な事務事業の遂行と継続										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市町村負担金の交付が適切に行われている											
事業概要	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、都道府県に設置の「大阪府後期高齢者医療広域連合」に対して、運営等に係る人件費や事務費を含む運営経費について、市町村負担金を交付する。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明															
	指標種類	単位					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	目標 (見込み)															
	実績															
	達成度															
	分析															

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	802	798	
	物件費計	9,511,324	10,263,143	10,648,619	10,658,929	100%
	歳出計	9,512,119	10,263,945	10,649,417		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	4,893,143	5,116,958	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	653,678	908,736	6,659,627	6,629,529	
	歳入計	5,546,821	6,025,694	6,659,627	6,629,529	
	一般財源	3,965,298	4,238,251	3,988,992	4,029,400	

5. 総括的分析

総括的分析	後期高齢者医療制度の運営のために、広域連合負担金を交付した。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	制度に則り、適正に事務を遂行する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療事業										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	市民生活部			課	国民健康保険室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2008 (H20) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律施行令、高齢者の医療の確保に関する法律施行規則				
関係補助金名称	サンセット				
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)は後期高齢者医療制度の対象となる			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適正な被保険者証の引渡し、各種申請や届出の受付等ができています。				
事業概要	<p>大阪府下の全市町村が加入する「大阪府後期高齢者医療広域連合」が主体となり、市町村と分担して事務を処理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連合: 被保険者の資格管理、被保険者証の交付、医療等の給付等 ・枚方市: 各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡し等 <p>本市被保険者数: 55,088人(2020年3月末現在)</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						窓口運営が円滑に行える。				被保険者証の引渡しや各種申請等の受付を適切に行う。			
指標説明						窓口平均待ち時間(繁忙期含む)				各種申請等、窓口での受付件数			
指標種類		単位				単位				単位			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					10	10	10	10	21,200	22,500	23,900	25,400
	実績					9				17,724			
達成度													
分析						7月繁忙期の待ち時間は平均26分であったが、年平均すると目標より待ち時間を短くすることができた。				令和2年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言がだされたため、窓口での受付件数が想定より減少した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	3.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	54,616	25,654	27,514		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	6,578	2,840	5,550		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	61,194	28,494	33,064		
	物件費計	88,346	56,530	56,116	71,628	78%	
	歳出計	149,540	85,024	89,180			
歳入	国庫支出金	8,456	0	992	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	22	0	54,885	68,695		
	歳入計	8,478	0	55,877	68,695		
一般財源		141,062	85,024	239	2,933		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響により、窓口受付件数が減少し、目標より窓口待ち時間を短くすることができた。今後も引き続き、窓口業務マニュアルを適宜更新し、窓口受付を円滑に運営する。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年度以降、団塊世代が被保険者となり始めることで被保険者が急増し、窓口受付が増えることが予想される。丁寧かつ迅速な窓口サービス、また、窓口を訪れなくても申請できる手法の提供など窓口における待ち時間の縮減に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療特別会計繰出金事務										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	市民生活部			課	国民健康保険室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	将来にわたり増加し続ける被保険者に対し円滑な事務事業の遂行と継続			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般会計からの繰出金が後期高齢者医療特別会計へ適切に支出されている。				
事業概要	後期高齢者医療特別会計に一般会計から繰出金を支出する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	401	399		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	398	401	399		
	物件費計	1,018,667	1,058,379	1,158,761	1,177,807	98%	
歳出計		1,019,065	1,058,780	1,159,160			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	653,678	681,552	754,043	754,043		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	6,084	0	0	0		
	歳入計	659,762	681,552	754,043	754,043		
一般財源		359,303	377,228	404,718	423,764		

5. 総括的分析

総括的分析	後期高齢者医療特別会計は、2008年度から施行の「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき事務事業を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	制度に則り、適正に事務を遂行していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険運営協議会運営事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	国民健康保険室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度		~					年度まで			
根拠法令等	国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例													
関係補助金名称							サンセット		~					
関係附属機関名称	国民健康保険運営協議会													
事業対象	メインターゲット		国民健康保険運営協議会											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		国民健康保険運営協議会が円滑に運営できない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国民健康保険運営協議会が円滑に運営できる。													
事業概要	協議会の開催は年2回程度で、市長からの諮問事項および国保事業の運営状況などについて審議・協議を行う。 委員構成(定数20人・任期3年):被保険者代表6人、保険医・薬剤師代表6人、公益代表6人、被用者保険代表2人													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位	
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)													
	実績													
	達成度													
分析														

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	19.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,578	2,806	3,988	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	297	354	0	
		特別職非常勤	—	—	297	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	3,875	3,160	4,285	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	3,875	3,160	4,285		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		3,875	3,160	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	2020年度(令和2年度)協議会開催実績:2回(10月・1月)。新型コロナウイルス感染防止のため、ともに書面による開催とした。 国民健康保険に係る状況の報告、国民健康保険制度改革に係る内容の報告や令和3年度の保険料賦課総額について諮問を行い、答申を受けた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今年度は、9月および2月の協議会開催を予定。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険特別会計繰出金事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	国民健康保険室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務				
事業期間	不明		年度	~		年度まで						
根拠法令等	国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例、枚方市国民健康保険条例施行規則											
関係補助金名称					サンセット		~					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	職場等のいずれの健康保険にも加入していない市民は国民健康保険に加入しなければならない										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	国民健康保険を適正に運営し、加入者に対する医療給付を行うとともに健康の保持増進のための取り組みを推進できている											
事業概要	国保特会への法定繰入分として、保険基盤安定制度(保険料軽減分、保険者支援分)、国保財政安定化支援事業、出産育児一時金、事務費について繰出しを行う。その他に、市独自として保険料軽減措置補填分、広域化準備財政安定分を繰り出す。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)				
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)				
	指標説明														
	指標種類	単位				単位				単位					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)														
	実績														
達成度															
分析															

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	802	2,791	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	802	2,791	
	物件費計	3,662,855	3,615,479	3,718,946	3,789,935	98%
	歳出計	3,663,650	3,616,281	3,721,737		
歳入	国庫支出金	417,836	422,709	436,804	436,804	
	府支出金	1,366,434	1,406,576	1,471,791	1,471,791	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	1,784,270	1,829,285	1,908,595	1,908,595	
	一般財源	1,879,380	1,786,996	1,810,351	1,881,340	

5. 総括的分析

総括的分析 累積赤字額については、平成29年度においてすべて解消することができた。
 令和2年度については、大阪府国民健康保険運営方針を踏まえ、法令や国の通知等に基づかない一般会計からの繰り入れは行っていない。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、今後の社会情勢、大阪府が示す方針や一般会計・国民健康保険特別会計の財政状況を勘案しながら、対応する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険料賦課徴収事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	市民生活部			課	国民健康保険室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例、枚方市国民健康保険条例施行規則				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市国民健康保険被保険者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	国民健康保険料の賦課・徴収を適正に行うことで、公平性を確保する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全被保険者に賦課される保険料を適正に徴収することで、公平性が確保され、保険事業が円滑に行えている。				
事業概要	国民健康保険料の算定・賦課、加入・脱退手続、保険料収納事務等を執行。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						国民健康保険料を徴収する。				被保険者に対して保険料を賦課する。			
指標説明						国民健康保険料徴収率				被保険者数			
		単位				単位				%			
指標種類						増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					93	93	93	93	79,377	79,377	79,377	79,377
	実績					93				79,698			
達成度						100%				100%			
分析						国による新型コロナウイルス感染症の影響による減免制度を利用する世帯が多く、これが分母である調定額の減少に影響を与えたものと考えられる。				社会保険や後期高齢者医療の加入による減が予想より少なかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	16.85
任期付職員	5.00
会計年度任用職員	12.13
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	160,113	158,672	152,507	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	17,855	16,844	20,725	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人件費計	177,968	175,516	173,232		
	物件費計	50,587	230,288	247,199	274,928	90%
	歳出計	228,555	405,804	420,431		
歳入	国庫支出金	0	4,921	131,990	21,383	
	府支出金	9,967	18,421	214,048	229,922	
	受益者負担(使用料・手数料)	26,635	23,666	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,056,895	1,076,703	
	歳入計	36,602	47,008	1,402,933	1,328,008	
	一般財源	191,953	358,796	▲ 1,155,734	▲ 1,053,080	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症による減免措置の導入への対応が増える中、債権回収課との連携のもと差押可能案件を移管した。収納方法の多様化を踏まえ、クレジットカードやラインペイによるキャッシュレス決済を導入した他、携帯電話などのショートメッセージサービス(SMS)を活用して納付忘れに対する確認メッセージを配信する取り組みを開始した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き債権回収課と連携し、積極的に差押などの滞納処分を行うほか、新規口座振替申込みを奨励するインセンティブ付与の実施などで口座振替率の向上を目指し、SMSの更なる効果的活用などを検討するなどして、収納率全体の向上を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険給付事業						
測定年度	2020(R2)年度		部	市民生活部		課	国民健康保険室
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡等に対して適正な保険給付を行う。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	加入者に対する医療給付を行うことで健康の保持増進が実現できている				
事業概要	医療機関から国保連合会を経由して提出された診療報酬明細書(レセプト)について、縦覧点検等を行った後、国保連合会を通じて診療報酬を支払う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						適正に診療報酬を支払う。				レセプト点検等給付審査を行う。		
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					被保険者一人当たり財政効果額 【算出式: 資格・内容点検過誤調整額 ÷ 平均被保険者数】				レセプト点検等給付審査件数			
指標設定	単位				単位				単位			
	件				円				件			
	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
指標数値					2,350	2,350	2,350	2,350	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
実績					2,080				1,259,283			
達成度					111%				110%			
分析					レセプト件数自体が減り、連合会でコロナ関連レセプトの審査方法が確立できなかったため、当市の再審査申し出に対して原審という結果が多くなった。				新型コロナウイルス感染症による受診控えが影響したと考えられる。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	9.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	5.00
特別職非常勤	1.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	64,801	69,635	69,481		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	9,699	8,720	8,685		
		特別職非常勤	—	—	240		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	74,500	78,355	78,406		
	物件費計	39,985,479	40,449,905	38,908,232	41,665,379	93%	
	歳出計	40,059,979	40,528,260	38,986,638			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	29,198,904	29,164,869	28,258,154	30,320,609		
	受益者負担(使用料・手数料)	7,676,406	7,672,067	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	1,242	305	10,468,735	10,637,228		
	歳入計	36,876,552	36,837,241	38,726,889	40,957,837		
	一般財源	3,183,427	3,691,019	181,343	707,542		

5. 総括的分析

総括的分析	主な保険給付状況:療養給付費23,519,772千円、療養費330,641千円、出産育児一時金91,475千円 ジェネリック差額通知を年3回送付した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ジェネリック差額通知を年3回実施する。 柔道整復療養費及びあはき療養費のレセプト点検等給付審査については、より重点的に内容を点検するため専門業者に委託を行う等、引き続き適正な保険給付に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	後期高齢者医療保険料徴収事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	国民健康保険室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律施行令、高齢者の医療の確保に関する法律施行規則				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上のすべての人及び65歳以上75歳未満で一定の障害のある人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	全被保険者に賦課される保険料の徴収における適正性及び公平性の確保			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	全被保険者に賦課される保険料を適正に徴収することで、公平性が確保されている。				
事業概要	広域連合が賦課決定した後期高齢者医療保険料について、徴収に係る事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						保険料の滞納が減少し収納率が向上する。				年齢到達直後など普通徴収の被保険者に口座振替の利用を勧奨する。			
指標説明						保険料収納率				普通徴収における口座加入率			
指標種類		単位				単位				単位			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					99.52	99.54	99.56	99.58	75	75.50	76	76.50
	実績					99.65				79.47			
達成度													
分析						前年度より収納率は0.13ポイント上昇した。(令和元年度 99.52% 令和2年度 99.65%)				年齢到達の被保険者証送付時に口座振替勧奨通知を同封することにより、加入率が伸びた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	31,266	28,710	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	2,840	2,235	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	34,106	30,945	
	物件費計	—	16,324	15,826	36,322	44%
	歳出計	—	50,430	46,771		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	10,910	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	8	8,399	12,118	
	歳入計	—	10,918	8,399	12,118	
	一般財源	—	39,512	7,427	24,204	

5. 総括的分析

総括的分析	口座振替の推進、電話催告の実施及び債権回収課への債権移管等により、収納率は昨年度を上回り、目標を達成した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、普通徴収の口座振替への勧奨を行うほか、初期滞納者に対する電話催告を実施するなど納付促進に努める。納付が困難な方には分納応談などを進める。また、納付相談に応じない高額滞納者については、計画的に債権回収課への移管対象として整理・移管していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険室運営事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	市民生活部			課	国民健康保険室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外									
	施策目標	99.施策体系外									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称						サンセット	~
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	国民健康保険室に在籍する職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われる						
事業概要	課の運営事務						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	7.95
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	98,592	60,929	63,401		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	726	0		
		特別職非常勤	—	—	2,855		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	98,592	61,655	66,256		
	物件費計	659,626	769,615	43,218	47,742	91%	
歳出計		758,218	831,270	109,474			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	32,466	3,767	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	39	62	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	407,682	727,682	418,523	442,158		
	歳入計	440,187	731,511	418,523	442,158		
一般財源		318,031	99,759	▲ 375,305	▲ 394,416		

5. 総括的分析

総括的分析	予算・決算、契約、文書管理、システム保守等の庶務事務を行った。
-------	---------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	大阪府との調整も含め、遺漏なく処理できるよう執行体制を整えていく。